

「竜巻等突風に関する国際シンポジウム」の開催について

気象庁は、平成 20 年 1 月 11 日（金）に、わが国初の「竜巻等突風に関する国際シンポジウム」を開催します。

この公開シンポジウムでは、竜巻等突風の最新の研究について、米国、欧州および日本の専門家が講演を行います。また、気象庁の突風対策や「竜巻等突風に関する専門家会合」（2008 年 1 月 9 日から 11 日午前）の概要を紹介します。

本シンポジウムは、海洋政策研究財団の平成 19 年度海外交流基金により実施するものです。

わが国では、平成 18 年 9 月 17 日に宮崎県延岡市で発生した竜巻によって死者 3 名を含む被害が、また、同年 11 月 7 日に北海道佐呂間町で発生した竜巻で死者 9 名を含む大規模な被害が発生するなど、竜巻等突風による災害が近年大きな問題となっています。

気象庁では、竜巻等の突風現象について、突風の実態や観測・予測技術に関する国内外の最新の知見を集約することにより、突風に関する研究開発を国際的に推進するため、海洋政策研究財団の海外交流基金による国際交流事業として、米国、カナダ、ドイツ、オーストラリア、中国、及び国内の著名な研究者を招待し、「竜巻等突風に関する専門家会合」（1 月 9 日（水）～11 日（金）午前）を開催した後、公開シンポジウム「竜巻等突風に関する国際シンポジウム」を以下のとおり開催します。

「竜巻等突風に関する国際シンポジウム」の概要（詳細は別紙のとおり）

場 所： 気象庁 2F 講堂（東京都千代田区大手町 1 - 3 - 4）

日 程： 平成 20 年 1 月 11 日（金）13:30-17:20（開始 30 分前より受付）

参加方法： 当日会場にて受付（先着順。事前登録不要。逐次通訳あり）。

参加費： 無料

問い合わせ先：

気象庁気象研究所企画室

電話 029-853-8536